

活動レポート

倫理委員会

文責：倫理委員会 幹事長 佐々木 裕之

令和 2 年度第 1 回研究 WG 活動報告他

はじめに

倫理委員会では、令和 2 年 10 月 12 日(月)に令和 2 年度第 1 回研究 WG(出席者 17 名)をかでの 2・7 730 研修室(会議室定員 40 名)にて開催いたしましたので、報告いたします。

1. 令和 2 年度第 1 回研究 WG

(1) 旭川高専共同授業について

例年実施してきた旭川高専での技術者倫理共同授業ですが、新型コロナウイルスの感染予防のため今年度の共同授業は中止となりました。今年度は座学のみで授業が実施されるとのことです。

(2) 第 11 回技術者倫理フォーラムについて

新型コロナウイルスの影響がなければ令和 2 年 6 月下旬に開催予定であった、第 11 回技術者倫理フォーラムですが、新型コロナウイルスの状況を見ながら 10～12 月の開催の可否を幹事会において検討してきました。幹事会では開催の時期や開催方法等について議論を行った結果、今回の定例 WG で委員の意見を聴取して決定することになり、最終的に中止することとしました。令和 3 年度に開催予定の第 11 回技術者倫理フォーラムですが、新型コロナウイルスの状況にもよりますが、現状では例年通り 6 月下旬頃に開催する予定で準備を進めていきます。

(3) これからの委員会運営方針について

幹事会でコロナ禍での委員会の運営方針について議論を重ねており、その内容についてある程度取りまとめましたので、研究 WG において委員の意見を聴取し、今後の運営方針を決めることとしました。

まず、従来のスタイルで研究 WG を実施するならば、研究 WG 出席者が凡そ 20 名程度であることから、今回の研究 WG のように会議室の定員が 40 名程度以上の会場を確保して行うこととしました。

ついで、Zoom 等の Web 会議サービス、slack 等のビジネスチャットツールなど IT ツールを使った会議スタイルへの変更について議論しましたが、委員全員で対応することは難しいのではないかとといった意見が多かったため断念しました。ただし、会場参加者を会議室定員の 50%程度に設定した際に、会場で研究 WG に参加できない委員のため Web 会議システムを用いることへの異論はありませんでした。

最後に、研究 WG を幾つかの新たな WG に細分化していく案について議論を行いました。委員全員で研究 WG を開催すると 3 密を回避するため広い会議室が必要になることや大人数だと議論に参加できないことが多いといったことが問題点として挙げられます。そこで 1 つの WG を 5～8 名程度にし、3～5 の WG に細分化し再編することで、議論の活発化や 3 密を回避した対面での WG 活動が可能になると考えます。また、幹事が各 WG に別れて参加することで、各 WG の活動テーマや議論の内容等についても幹事会で情報共有が可能となり、これまでのような委員会活動が行えると考えています。以上のことを委員に説明を行い、次回研究 WG までに幹事を中心として、新たな WG 案を計画し、各委員が所属を希望する WG について意見を聞くことにしました。

おわりに

倫理委員会ではメンバーを募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか？詳しくは当委員会 HP をご確認ください。また、第 11 回技術者倫理フォーラムを令和 3 年 6 月下旬の開催を目標にして準備を進めています。みなさんの参加をお待ちしております。